

● スマホによるネットトラブルの注意喚起について：整理番号30

スマホによるネットトラブルを回避するために、ネット利用のモラル教育、セキュリティ対策などの指導や注意を呼びかけるパンフレットの配布など、対策をするべきだ。

⇒ 平成27年度から、スマホ・ネット問題総合対策として、保護者等への啓発強化や、学校・家庭・地域が連携し子どもを守る体制づくりを進めることとしています。

また、児童生徒が直面しているネット依存、ネットいじめなどの人権侵害、ネットトラブル等の問題について学ぶことができる保護者及び地域の大人向け学習リーフレットを作成し、各学校やPTA研修会等で配付し活用を促すとともに、子どもと関わる青少年団体や公民館等にも配布し、理解促進を図ることとしています。

(教育委員会)

● 聴覚障害者への対応について：整理番号38

聴覚障害者、手話通訳者、要約筆記者は見たところ普通の人であり、何らかの形で目印が必要だ。東日本大震災では、たくさんの避難所があったが、聴覚障害者等が一番困ったのは、情報の要となる手話通訳者や要約筆記者等を探すことだった。

⇒ 手話通訳者、要約筆記者、聴覚障害者の目印の必要性について、福祉避難所での情報交換や避難者との意思疎通の向上につながることを期待できるため、平成26年度に実施した手話通訳者や要約筆記者を対象とした講習会等で、他県の例などを活用し周知しました。

(障害福祉課)

● 公共施設の耐震化について：整理番号46

耐震化が遅れている公共施設と学校の点検改修を実施してほしい。

⇒ 県庁舎の耐震化につきましては、耐震化が必要な本庁舎本館、西庁舎、南庁舎、議会棟旧館のうち、既に西庁舎の耐震化を完了し、現在は、南庁舎の建替えによる警察本部庁舎の整備を進めているところです。この警察本部庁舎整備事業が完了後、引き続き、本庁舎本館と議会棟旧館の耐震化を進めることとしております。

また、学校施設の耐震化につきましては、平成27年度末までに100%完了することを目標に耐震補強工事を実施しており、既に県内の8割の公立学校については耐震化が完了しています。残る学校についても耐震化をできるだけ早期に完了するよう、取組をより一層進めてまいります。

(財産活用課、教育委員会)

● 学校への太陽光パネル等の設置について：整理番号47

県内のすべての学校に太陽光発電パネル・液晶モニターを設置してはどうか。

⇒ 平成26年度に新たに設置した県立学校はありませんが、現在、県立学校11校に太陽光パネルを設置しているところであり、今後も財政状況等を踏まえながら対応してまいります。

また、市町村が小中学校に設置する場合には、国の補助制度を紹介するなど、その取組を支援してまいります。

(教育委員会)

● LINE アプリにおける「ももっち」スタンプの作成について：整理番号56

LINEのスタンプで、「ももっち」などがあれば良いと思う。スタンプとして利用されれば、広く拡散されるので非常に効果が高いと考えるが、検討してはどうか。

⇒ LINEスタンプを活用した県の情報発信の一環として、岡山県マスコット「ももっち」「うらっち」のスタンプを制作し、LINE上で販売できるよう手続きを進めています。

(公聴広報課)

● 県産野菜のPRについて：整理番号68

県産野菜について、品質と食味をしっかりとPRしてもらいたい。

⇒ 平成27年度にアンテナショップを活用し、鳥取県と連携して野菜ソムリエ協会を講師とした県産野菜PRイベントを年4回開催する予定としています。

(農政企画課)

● 県内の道路標識について：整理番号98

岡山県内の道路は、交差点に標識が設置されていない箇所があり、ローマ字や英語の表示がないもの等ばかりだ。標識をきちんと整備してほしい。

⇒ 標識を更新又は新設する際には、英語による表示を併記したいと考えています。

なお、平成26年度は3箇所の交差点で9枚の交差点案内標識を設置しました。

(道路整備課)

● 県総合グラウンドのポールについて：整理番号124

夜間に岡山総合グラウンド内のポールが立っているのが見えにくい。街灯が暗くてポールが見えない場所の確認、街灯の増設、ポールへの反射材対策などをお願いしたい。

⇒ グラウンド事務所において、見回りを行い、園内すべてのポールに反射材の巻き付けを行ったほか、イベント後には、ポールの下げ忘れがないかを必ず確認するよう、各施設責任者に周知しました。

(都市計画課)

- 自動車税通知等送付時のDV被害者への配慮について：整理番号129
DV被害者の前住所に自動車税の督促などが送付され、車のナンバーなど、被害者が特定される恐れがあった。
県は、「支援対象者マニュアルを改める」と言われていたが、DVなどは殺人事件に発展する可能性もあり、自覚を持って対処してもらいたい。

⇒ 今回の事案を受け、直ちにDV等支援措置対象者に関する県税の事務処理を見直すとともに、パソコンの照会画面でDV等支援措置対象者の住所を非表示にする等のシステム改修を行ったところです。併せて、現在、事務対応マニュアルの改定を行っており、再発防止に万全を期してまいります。

また、DV等支援措置対象者への特別な配慮等の重要性を踏まえ、個人情報の適正管理等について、会議や研修等を通じて改めて徹底しております。

(税務課)

- クレジットカードによる県税納付について：整理番号139
自動車税などの県税の納付に、クレジットカードの利用は出来ないか。

⇒ 平成27年5月の定期課税時から、「Yahoo!公金支払い」によりほとんどのクレジットカードで納付手続きできるようにしました。

(税務課)

- アンテナショップの商品情報について：整理番号181
東京のアンテナショップのホームページに、商品の具体的な情報が掲載されていない。

⇒ 平成26年度からホームページ上で定期的に旬の商品情報をアップするようにしました。また、フェイスブックも活用し、頻繁に商品についての情報を発信してまいります。

(マーケティング推進室)

- 動物の殺処分について：整理番号197
殺処分される不幸な動物を減らすために、去勢・避妊手術の徹底や終生飼養の徹底などを周知し、子供たちに命の重要性についての教育をお願いしたい。

⇒ 平成26年度に、終生飼養の啓発のため、県内の小中学校592校に動物愛護啓発DVDを配布しました。

■ 啓発DVD

小学校：「本当に飼えるかな？」 中学校：「ペットを飼う覚悟と責任」

(生活衛生課)

● ハートフルおかやまのPRについて：整理番号235

青少年や保護者からの相談に応じる岡山県青少年総合相談センター（ハートフルおかやま）の一層のPRを推進してほしい。

⇒ ハートフルおかやまをPRするカード・チラシの児童生徒への直接配布に加え、平成26年度からは新たにスマホ・ネットの利用啓発等の青少年向けチラシにハートフルおかやまを掲載し、街頭で配布するなど、より一層のPRに取り組んでいます。

（男女共同参画青少年課）

● ラグビーワールドカップ出場国のキャンプ誘致について 整理番号238

平成31年に日本で開催されるラグビーワールドカップ出場国のキャンプを美作ラグビー・サッカー場に誘致してほしい。

⇒ 平成26年度には、ラグビーワールドカップ組織委員会等への事前キャンプ地誘致の働きかけを行いました。また、平成27年度は、美作ラグビー・サッカー場の第2補助天然芝グラウンドを人工芝に改修するとともに、本県・美作地域を紹介するPR資材を作成し、駐日大使館等を訪問するなど、積極的な誘致活動を展開する予定としています。

（スポーツ振興課）

● スマートフォンの規制について：整理番号239

若年層が携帯電話やスマートフォンを所持することを条例で制限してはどうか。自己管理では無理なため、大人がルールを作り、害を取り除かなければならない。

⇒ 県では、平成23年度に「岡山県青少年によるインターネットの適切な利用の推進に関する条例」を制定し、県はもとより、保護者、事業者等の責務を定めており、県では、この条例に基づき各種の施策を推進しているところです。平成27年度からは新たに、市町村や関係団体、携帯電話事業者と連携し、店頭でのフィルタリングの設定の徹底や、保護者を対象とした研修会に専門家を派遣するなど、子どもたちが携帯電話やスマートフォンを適切に利用できるよう取り組むこととしています。（男女共同参画青少年課）

● 黄砂等への対応について 整理番号248

近年、黄砂とPM2.5の量が多いと感じるが、対応について国へ働きかけをしてほしい。

⇒ 平成26年度に大陸からの影響に係る原因究明や低減対策に取り組むよう国に提案しました。

（環境管理課）

<平成26年度において、「検討中」としたもの>

● 瀬戸大橋等の通行料金値下げによる宇高航路減便について：整理番号230

瀬戸大橋、明石海峡大橋の通行料金値下げにより、フェリーの利用者が減ったことから、四国フェリーの運航する宇高航路（宇野－高松間）が、平成27年3月から減便（14便→10便）された。これからも宇高航路を残すようにしてほしい。

⇒ 宇高航路につきましては、これまでも、国、香川県、玉野市、高松市と連携して、航路の存続に向けた協議を重ねており、引き続き、これらの関係機関とともに対応策を検討してまいります。

（県民生活交通課）

<平成25年度において、「検討中」としたもの>

● 県道拡幅工事について：整理番号16

井原福山港線と下御領井原線が交わる井原市大江町にある交差点で、井原福山港線側は拡幅用地を確保したまま工事が止まっているが、いつになったら舗装を行い、供用するのか。撤去された案内標識の再設置は行うのか。

⇒ 平成25年度対応状況

拡幅工事が現在進行中であり、平成26年度内に供用開始できるよう努めております。また、撤去された案内標識は元の場所に再設置することを予定しています。

⇒ 平成26年度対応状況

平成26年度に工事が完了し、供用開始しました。また、案内標識についても再設置しました。

（道路整備課）

● リンク用バナーの設置について 整理番号96

県公式ホームページにリンク用バナーを設置してはどうか。

⇒ 平成25年度対応状況

岡山県では、現在、本県の名前と良いイメージを全国に向けて浸透させるためのイメージアップ戦略を進めております。その戦略の一環として、ロゴやご提案のバナーの作成についても検討してまいります。

⇒ 平成26年検討状況

全国における県の認知度アップに向けて、新たなキャッチフレーズ「もんげー岡山！」を発表し、ロゴマーク、HP用のバナーやPRグッズなども作成し、広くプロモーションを展開しているところです。今後とも効果的な情報発信に努めてまいります。

（公聴広報課）

● 瀬戸大橋通行料金について 整理番号124

平成26年度からの瀬戸大橋通行料金新料金について、利用しやすい料金にしてほしい。瀬戸大橋通行料金を安くしたときに瀬戸大橋へ車が増えるので、玉野市の利用者に必要な、宇野－高松間の四国フェリーについて、検討が必要だ。

⇒ 平成25年度対応状況

県では、本四3橋の関係府県市と連携し、利用しやすい料金となるよう、国に粘り強く働きかけてきた結果、平成26年4月1日から全国共通料金が導入され、料金水準が引き下げられました。

また、宇野高松間のフェリーについては、平成26年4月1日に決定された瀬戸大橋の新料金による影響を見極めながら、国や関係自治体、フェリー事業者と連携を図り、引き続き対応を検討していきます。

⇒ 平成26年度対応状況

宇野高松間のフェリーについては、国や関係自治体、フェリー事業者と連携を図り、引き続き対応を検討していきます。

(監理課、県民生活交通課)

● 犬猫の引き取りについて 整理番号169

平成25年9月に動物の愛護及び管理に関する法律が改正された。犬猫の「定時定点収集」はやめるべきだ。

⇒ 平成25年度対応状況

平成25年9月以降は、法律の規定を厳格に運用しており、業者や飼い主からの安易な引き取りは行っていません。動物センター以外での引き取りについては、平成26年度中の廃止を検討しています。

⇒ 平成26年度対応状況

平成26年度から縮小し、H27年度からは完全廃止しました。

(生活衛生課)

● 定時定点回収について 整理番号271

犬猫の「定時定点収集」はやめるべきだ。

⇒ 平成25年度対応状況

平成25年9月以降は、法律の規定を厳格に運用しており、業者や飼い主からの安易な引き取りは行っていません。

動物センター以外での引き取りについては、平成26年度中の廃止を検討しています。

⇒ 平成26年度対応状況

平成26年度から縮小し、H27年度からは完全廃止しました。

(生活衛生課)

● 岡山県内の美術展について 整理番号 3 1 0

兵庫県内の市の展覧会は、他の府県からも応募できる公募形式であるが、岡山県は閉鎖的である。県在住者の応募に限っている県展とは別に、他府県公募の展覧会の開催を希望する。

⇒ 平成 2 5 年度対応状況

現行の県展は、県在住者を対象とした公募展ですが、応募者数の増加に繋がるよう、応募資格を県内在勤・在学まで拡大する方向で県展運営委員会に提案する予定です。

⇒ 平成 2 6 年度対応状況

平成 2 6 年度の岡山県美術展から、応募資格を県内在勤・在学まで拡大しました。
(文化振興課)

● 犬猫の殺処分廃止について 整理番号 3 5 4

野良猫の不妊手術の支援をお願いします。

⇒ 平成 2 5 年度対応状況

野良猫対策については、関係者等から情報収集するとともに、具体的な取り組みについて、今後、検討会などで協議します。

⇒ 平成 2 6 年度対応状況

野良猫対策について、ボランティア団体等と検討会を開催し、今後の方針を協議しているところです。
(生活衛生課)

<平成 2 4 年度において、「検討中」としたもの>

● 自動車取得税・自動車税減免について 整理番号 2 5 4

精神障害者保健福祉手帳 1 級の所持者の生計同一者が運転する場合は、本人運転と比べて使用目的の条件が厳しすぎるので、他府県同様に、生計同一者が障害者の日常生活のために運転する場合も減免を認めてほしい。

⇒ 平成 2 4 年度対応状況

ご要望の点については、精神障害者だけでなく身体障害者、知的障害者及び戦傷病者を含めた身体障害者等が所有する自動車に対する課税免除制度全体の見直しの中で検討していくこととしています。

今年度は、他都道府県の状況調査や関係各所の意見聴取を行うなど、具体的に検討を進めていく予定です。

⇒ 平成 2 5 年度対応状況

平成 2 5 年度に実施した他県の状況調査等の結果を踏まえ、ご提言の運転者の条件のほか、使用目的や頻度、免除の方法など免除制度に関する様々な課題を整理し、制度の改善に向け検討を進めています。

⇒ 平成26年度対応状況

引き続き、ご提言の運転条件のほか、使用目的や頻度・免除の方法など免除制度に関する様々な課題を整理し、制度の改善に向け検討を進めており、平成27年度は制度設計を進める予定としております。

(税務課)